

小樽市委託事業
令和4年度 若者就職マッチング支援事業

実績報告書

令和5年2月28日

株式会社オー・プラン

= 目 次 =

本 編

I. はじめに P	1
(1) 業務目的 P	1
(2) 実施期間 P	1
(3) 業務内容 P	1
II. 高校生等に対する支援について		
(1) 企業見学会 P	2
(2) 企業見学バスツアー P	5
(3) 企業出前説明会 P	6
(4) 就活セミナー P	7
(5) インターンシップ P	7
III. 調査・分析 P	8
IV. 参考		
(1) 事業の実施状況について P	2 1
(2) 参加企業等一覧 P	2 3

I. はじめに

小樽市においては、平成21年度から、主に高校生の就職に向けた実践力を早い段階から向上させ、正規雇用につなげるための取組や地元企業への定着促進を進めている。さらに令和元年度からは、地元企業における人材不足の解消にも目を向け、『若者就職マッチング支援事業』として実施している。対象を小樽市内・外の大学生まで広げたほか、市内企業と若者のマッチング機会充実のため、「企業出前説明会」の開催や、就職前の意識向上を図るため、社会保険に関する「就活セミナー」を追加するなど事業内容の見直しをして実施してきた。また、昨年度から参加生徒・学生が一日に数社を見学する「企業見学バスツアー」を実施することで、参加者の企業理解と就職への意識向上を図った。

令和4年度は、引き続き、対象を市内の高校・大学だけではなく札幌圏の大学等とした。特に「インターンシップ」は参加者の都合に合わせてられるよう日時を設定せずに随時受付とし、「若者就職マッチング支援事業」を実施した。

(1) 業務目的

主に市内の高校、大学等において就職を希望する生徒及び学生（以下、「就職希望の若者」という）の就職率向上及び地元定着を図るため、業務目的を以下のとおり設定。

- ① 就職希望の若者について、就職に対する意識向上を図るほか、就職する上で必要な社会保障制度などの基礎知識等を身につけることを目的とした。
- ② 就職希望の若者及び進路指導担当教諭などの学校職員が、市内企業に対する理解及び認識を深めるとともに、分かりやすい市内企業情報を提供することを目的とした。
- ③ 市内企業に対し人材確保のための機会を提供することを目的とした。

(2) 実施期間 令和4年4月1日から令和5年2月28日まで

(3) 業務内容

「企業見学会」、「企業見学バスツアー」、「企業出前説明会」、「就活セミナー」、及び「インターンシップ」を実施。

Ⅱ. 高校生等に対する支援について

事業対象となる市内高校7校（潮陵（全日・定時）、桜陽、未来創造（全日・定時）、水産、明峰、北照、双葉（全日・通信））、小樽商科大学（商大）、北海道職業能力開発大学校（能開大）を個別訪問して事業周知・各学校と情報交換を行った。また、札幌圏の大学へは本事業チラシやインターンシップ・企業見学会・企業見学バスツアーチラシの郵送ならびに電話にて周知を行った。

（１）企業見学会

企業見学会は、高校生等が実際の就業環境や業務を見学することで、具体的に就職や企業をイメージすることが可能となり、適正な職業選択や就職後における離職率の低下が期待できる。また、企業にとっては、直接、高校生等に企業を紹介することができる。

今年度は20企業（全20回）での開催を設定し、全6回の実施で高校3校（未来創造（全日）、水産、潮陵（定時））、大学1校（札幌学院大学）から参加申込があった。当日体調不良による欠席者が2名いたが、延7名の生徒が参加（延9名の申込）となった。また、申込はあったが参加者の体調不良等により日時を延期する説明会が2回あった。今年度は札幌圏の大学からも参加者がおり、少しずつ周知され始めていることが予想される。

参加した生徒に対する事後アンケートでは、「知らないことが多かったので、見学できてよかった」、「もっと詳しく質問すれば良かった」「ぜひ就職を希望したい」との回答があった。

<第1回企業見学会>

日 時 令和4年6月24日（金）

企業名 田中酒造株式会社

内 容 初めに事務所にて会社概要、各部署の紹介などの説明を受けた。本店と亀甲蔵で酒の販売は同様に行っているが、本店は通販、亀甲蔵は観光客向けと機能の違いもあるとのことだった。その後、亀甲蔵へ移動し、工場の見学を行った。午後の見学であったため、ほとんどの製造作業が終了していたが、滅多に見ることのできない「火入れ」の過程は丁度行っており見ることができた。参加者は真剣にメモを取りながら話を聞く様子が見受けられ、後のアンケートでは参加に満足と回答していた。

<第2回企業見学会>

日 時 令和4年6月27日（月）

企業名 横浜冷凍株式会社

<第3回企業見学会>

日 時 令和4年6月28日（火）

企業名 ノーザンオートサービス株式会社

<第4回企業見学会>

日 時 令和4年6月30日（木）

企業名 伊藤ハムデイリー株式会社

<第5回企業見学会>

日 時 令和4年7月1日（金）

企業名 有限会社利尻屋みのや

※<第2回～第5回>参加申込が無かったため中止

<第6回企業見学会>

日 時 令和4年7月11日(月) ※当日参加者の体調不良により令和4年8月3日(水)に延期

企業名 ノイシュロス・オペレーション株式会社

内 容 当日は急遽、未来創造高校の生徒が欠席となり、札幌学院大学の学生1名の参加となった。最初に応接室にて、ホテルマンとはどのようなものか、ノイシュロスでの仕事内容についてをお話しいただいた後、実際にあった成功体験や失敗体験をお話しいただいた。ご担当の里館様には良いところだけではなく、悪いところも包み隠さずお話しいただいたことで、参加者も緊張がほぐれ、「就活で大切なこととは」、「海外向けの広報はどのようにしているのか」、「小樽にあるホテルとして、小樽の魅力の伝え方」など様々な質問をしていた。一通り説明と質疑応答が終わった後、館内を見学した。ホテル内レストランやキッズスペース、そして最上階のスイートルームを見せていただいた。スイートルームからの景色には参加者も驚いており、後のアンケートでは「働く上でのモチベーションに繋がると思う、ぜひ就職を希望したい」との声があった。

<第7回企業見学会>

日 時 令和4年7月13日(水)

企業名 株式会社大川鉄工所 ※参加申込が無かったため中止

<第8回企業見学会>

日 時 令和4年7月25日(月)

企業名 株式会社温泉宏楽園

内 容 先方のチェックインの時間が近かったため、先に事務所や客室、浴場などの施設内見学を行った。全34室の客室ほとんど全てに露天風呂がついており、和室、和洋室、メゾネットタイプなど部屋の種類も様々だった。各客室の内容、客室からの景色に参加者たちも驚いているようだった。その後、広間1室にて会社概要の説明を受けた。旅館の規模、従業員数、基本給等の諸情報のほか、7年前に起こった火災から得たことをお話しいただいた。大学生の参加者から火災後、現状へ持ち直すためのモチベーションは何だったのかと質問があり、一つは今いるお客様(特にインバウンド)をどのように帰すかに必死であったから、もう一つは一緒に頑張ろうと言ってくれた仲間・従業員たちがいたから持ち直すことができたとお話しいただいた。企業見学会後、参加者からお話しや事後アンケートを伺い、参加した2名ともぜひ宏楽園の採用試験に挑戦したいとのことだった。

<第9回企業見学会>

日 時 令和4年7月27日(水)

企業名 社会福祉法人北海道宏栄社

<第10回企業見学会>

日 時 令和4年7月28日(木)

企業名 株式会社健康倶楽部

<第11回企業見学会>

日 時 令和4年7月29日(金)

企業名 西條産業株式会社

<第12回企業見学会>

日 時 令和4年8月1日(月)

企業名 株式会社エムデジ ※<第9回~第12回>参加申込が無かったため中止

<第13回企業見学会>

日 時 令和4年8月3日(水)

企業名 新日本海フェリー株式会社

内 容 本来小樽水産高校の生徒2名の参加を予定していたが、1名が急遽欠席となり、予定より少し遅れて開始した。最初に3F会議室にて求人票、資料(フェリーパンフ等)を見ながら、担当者より仕事の内容や、会社概要を説明していただいた。説明後は、ターミナル内やフェリー内を見学させていただいた。参加者からは「企業見学でしか見ることのできない現場を見ることができて良かった」との感想があった。

<第14回企業見学会>

日 時 令和4年8月5日(金)

企業名 株式会社久保組 ※参加申込が無かったため中止

<第15回企業見学会>

日 時 令和4年8月8日(月)

企業名 昭和製器株式会社

内 容 最初に会社概要、仕事の内容や、昭和製器(北海製罐)で作っているものなどを担当者よりお話しいただいた。昭和製器は北海製罐のグループ会社であり、小樽で北海製罐の事業を100%委託運営しているとのことだった。かしまった形ではなく、雑談形式でお話しいただいたので、参加者も緊張が解け、興味を示しながら担当者の話を聞いていた。特に、昭和製器の屋上にあるサイレン・ポーは小樽の象徴として機能しており、社員をはじめ、小樽市民もこのサイレンの音を時報として活用しているので、故障の際は問い合わせがきってしまうという話は楽しそうに聞いていた。

その後工場内を見学した。部署は印刷、製罐、蓋付の3つに別れており、大きな機械音の中ではあったが、それぞれの製造過程をお話しいただいた。その他原料の貯蔵庫や完成品の倉庫などを見学した。工場内は広く、全ての部署が繋がっているため、歩く距離がかなり長かったが、参加した生徒は工場内の見学が楽しかったらしく、全然距離を歩いた気がしなかったと話しており、見学会に満足していた。

<第16回企業見学会>

日 時 令和4年8月9日(火)

企業名 株式会社小樽ゴルフ場

<第17回企業見学会>

日 時 令和4年8月10日(水)

企業名 社会福祉法人小樽育成院

<第18回企業見学会>

日 時 令和4年8月24日(水)

企業名 株式会社光合金製作所 ※<第16回~第18回>参加申込が無かったため中止

<第19回企業見学会>

日 時 令和4年8月26日(金) ※当日参加者の体調不良により令和4年9月9日(金)に延期

企業名 株式会社アートクリエイト

内 容 初めに企業担当者より、店舗2階にて会社の概要についてご説明いただいた。現在小樽市内にガラス雑貨やお酒用のグラス、カフェなどそれぞれに特徴のある16店舗を展開しており、全国でも数店舗の店舗を構えているとのことだった。現在は旅行業へも進出しており、年々新たな事業を展開するようにしているとのことだった。参加者から、ガラスを売れるようにしている工夫は何かという質問があり、定義づけていることはないが、潮祭りに合わせてガラス市を行うなど、観光客にも市民にもPRするようにしているとのことだった。コロナ禍により、観光は大きな打撃を受けたので、観光客だけではなく市民へもアピールしていくことが大切とお話いただいた。説明後、大正硝子の店舗数店舗を見学させていただいた。参加者は特にお酒用のガラス商品に興味を示しているようだった。事後アンケートではガラスについて色々知ることができて良かった。採用試験を受けたい。との感想があった。

<第20回企業見学会>

日 時 令和4年8月31日(水)

企業名 株式会社北日本消毒 ※参加申込が無かったため中止

(2) 企業見学バスツアー

一度に複数の企業を見学することで、短時間に多くの企業の情報を入手し、また比較検討ができるなど、1社だけの見学では得られない効果をもたらすため、市内高校・大学、札幌圏の大学校及び専門学校に在籍する生徒及び学生を対象に「企業見学バスツアー」を実施した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対策を徹底したうえで大型バスを貸し切り、定員30名で実施した。また、小樽市銭函エリアの企業を周知する目的で、そのエリアに所在する企業3社を見学した。

日 時 令和4年9月26日(月) 9時~16時

申込人数 20名(北照高等学校20名)

参加人数 15名(北照高等学校15名)

※当日は体調不良により5名が欠席

見学先企業 ・株式会社小樽ゴルフ場(小樽カントリー倶楽部)

・株式会社アレフ(小樽ビール銭函醸造所)

・東洋水産株式会社北海道事業部

内 容 小樽市内銭函エリアの企業3社を貸切バスで回る企業見学バスツアーを実施した。当日体調不良により5名が欠席となり、北照高校の生徒計15名の参加となった。それぞれの企業で会社概要の説明を受け、施設内・工場内見学を実施し、小樽カントリー倶楽部では実際にゴ

ルフの打ちっぱなしを体験させていただいた。

参加者は1校からの申し込みで15名と定員の半数ではあったものの、普段見ることのできない現場を見学・体験し、ほとんどの参加者が本バスツアーに満足したようだった。

今回受け入れ企業を検討したうえで、企業担当者からは新型コロナウイルス感染症への懸念や、人員不足によりあまり多い人数は受け入れられないとの声が多かったため、来年度は定員人数を検討する必要がある。

(3) 企業出前説明会

<第1回企業出前説明会>

日 時 令和4年6月28日(火)

場 所 北海道職業能力開発大学校

参加者 機械系生産システム技術科3年生(13名) 11時00分～12時00分

参加企業 ・オーエスマシナリー株式会社
・クリロン化成株式会社

内 容 昨年度は建築施工システム技術科(建築系)の学生を対象だったが、今年度は生産システム技術科(機械系)の学生を対象にした企業出前説明会を実施した。

最初にオーエスマシナリー 柳田様より会社概要をご説明いただいた。その後、製造している製品やその製造用機械、就活へのアドバイスをお話いただいた。

次にクリロン化成 守村様・阿部様より同様に説明いただいた。クリロン化成様ではチャレンジ制度という自分から志願して昇給・役職を持てる制度があり、この制度には後のアンケートで数名の学生が興味があると答えていた。

どちらの企業にも説明後、質疑応答の時間を設けたが、自主的に挙手して質問する学生はいなかった。しかし、企業からの説明・司会と企業の質疑応答のやりとりに対し、真剣に話を聴いていた。

実施後のアンケートでは、「興味を持った」「就職に対する視野が広がった」との記述があり、ほとんどの学生が今回の説明会に「満足」「やや満足」と回答していた。

<第2回企業出前説明会>

日 時 令和4年10月25日(火) 10時30分～12時10分

場 所 小樽北照高等学校

参加者 2年生(47名)

参加企業 ・新日本海フェリー株式会社 外12社

内 容 最初に担当教員から全体の流れや本説明会の主旨説明を行い、その後説明が始まった。1セット15分、計5回の説明が行われた。初回のみ参加者が0人の企業ブースが1社あったが、その後は、全ての企業ブースに参加生徒がいる状態であった。会場が体育館で声が響き、かつ企業担当者がマスクを着用しながら話をするため、声の聞き取りにくさは多少あったが、参加している生徒全員が真剣に話を聞いている姿が見受けられた。

<第3回企業出前説明会>

日 時 令和5年2月21日(火) 13時25分～15時15分

場 所 小樽双葉高等学校

参加者 1年生(約81名)

参加企業 ・一正蒲鉾株式会社北海道工場 ほかに12社

内 容 本校の出前説明会は、教室等10箇所(10社)と体育館(3社)に分かれ、個別に説明できる環境が用意されていた。はじめに体育館にて全体会を行い、当日の流れの説明及び参加企業の紹介を行い、その後生徒は適宜分かれて各企業の説明を聞いた。学校側では当日どの生徒がどの企業の説明を聞くかを予め割り振っており、教室は個別の企業の場所であり、体育館は企業同士の間隔が広く、どちらも説明を聞くのに他社の声などは聞こえず、良い環境の元行われた。1企業に対し5人から8人が説明を聞き、20分を1タームとして生徒の入れ替えを行い、計3回行われた。会社概要等をスクリーンで映し説明する企業、パソコンの画面を直接生徒に見せながら説明する企業、会社のパンフレットを持ちながら説明する企業など、説明の仕方には企業それぞれの工夫が見られた。生徒は全員タブレットを持参し説明会に臨み、学校からの課題を表示させながら、説明を聞いた内容を画面にメモしていた。

説明会後は学校の進路指導教員と企業担当者との情報交換会を行った。企業からは、生徒とのコミュニケーションがうまくいった。企業の情報を生徒が事前にリサーチして、当日の学びが深まるような工夫が必要だ。生徒の礼儀正しさに感心した。今後もこのような機会があれば参加したいなどの意見が出た。学校からは、来年からは生徒に早めに取り組みせ、説明会当日の質疑応答の時間をルール化するなど積極的に質問が出るよう工夫したいなどの話があった。

(4) 就活セミナー

本セミナーは、社会保険労務士の講義により、参加生徒にこれから将来働く上で必要な社会保障制度や労働に関する基礎知識を身につける目的で企画した。

しかし、今年度は各学校において時間の確保が難しいとのことで実施ができなかった。

(5) インターンシップ

生徒や学生が、就業体験を通じて職場の雰囲気を感じ、卒業後の企業での就業イメージの構築に役立たせることを目的に実施する。

今年度は学校側の都合に合わせ、生徒・学生が参加しやすいよう実施日を設定せず、随時受付にして受入企業を学校側へ案内したところ、小樽桜陽高等学校から1名の参加者があった。

<第1回インターンシップ>

日 時 令和4年8月2日(火) 11:30～14:00

企業名 株式会社温泉宏楽園

内 容 当日は参加者に動きやすい服装で参加してもらい、客室の清掃、浴衣やアメニティの入れ込み及び点検などを行った。

※他、19社でのインターンシップを設定したが、参加申込が無かったため中止

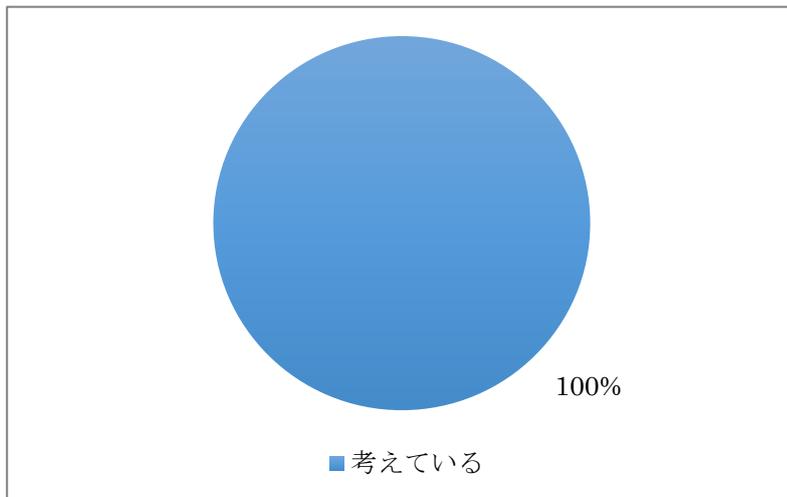
Ⅲ. 調査・分析

(1) 企業見学会

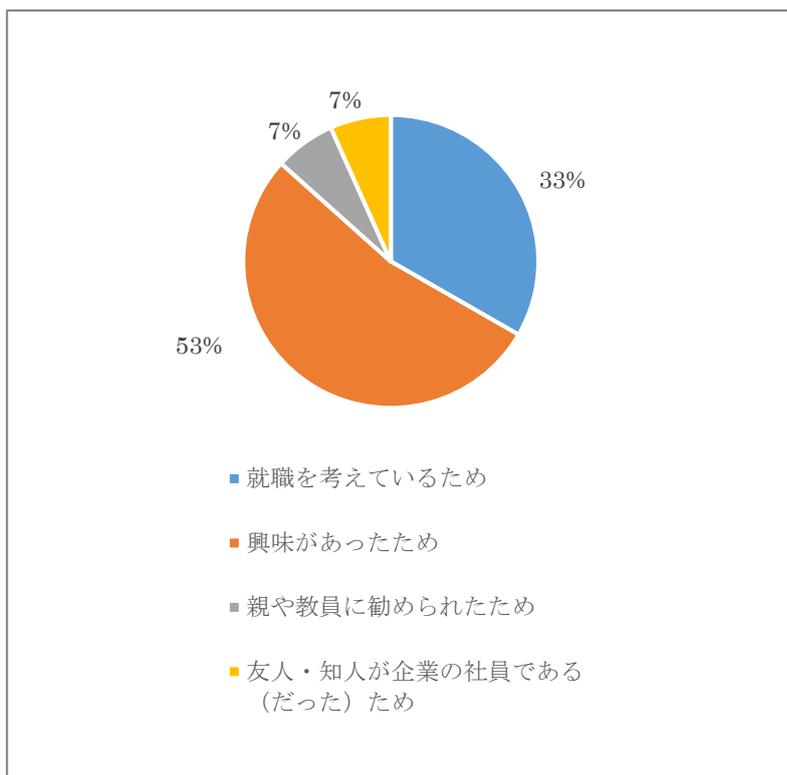
〈アンケート結果〉

回答数：7名

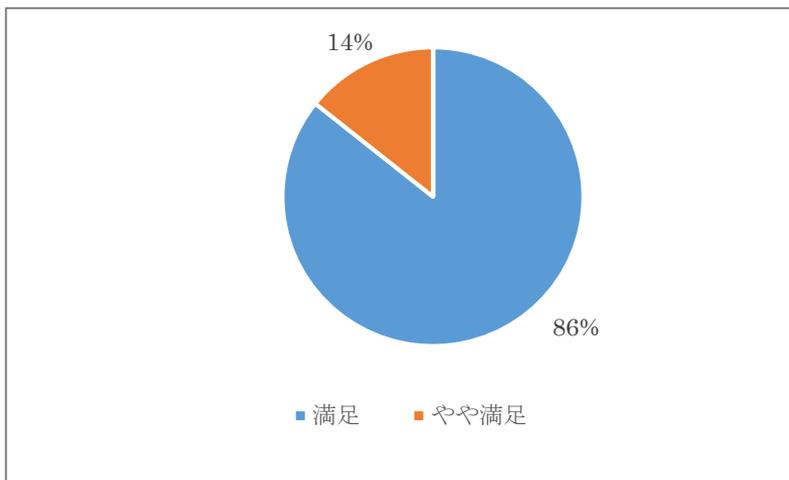
質問1. 今現在、小樽市内の企業への就職を考えていますか？



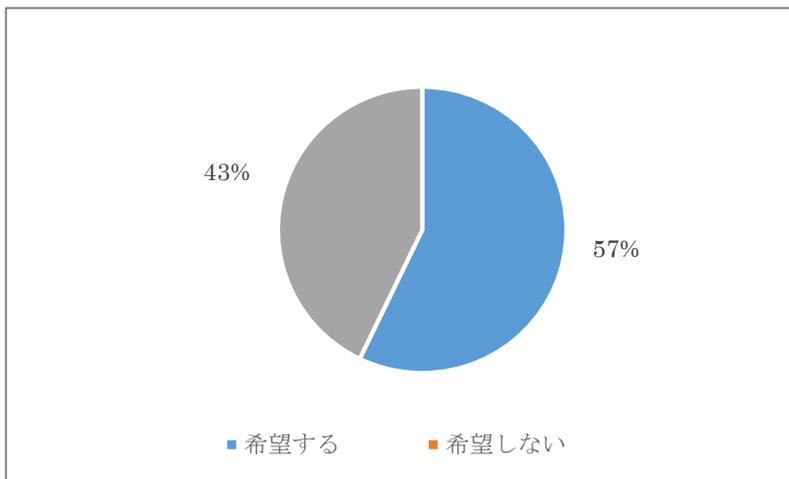
質問2. 本日の企業見学会へ参加した理由をお選びください。(複数回答)



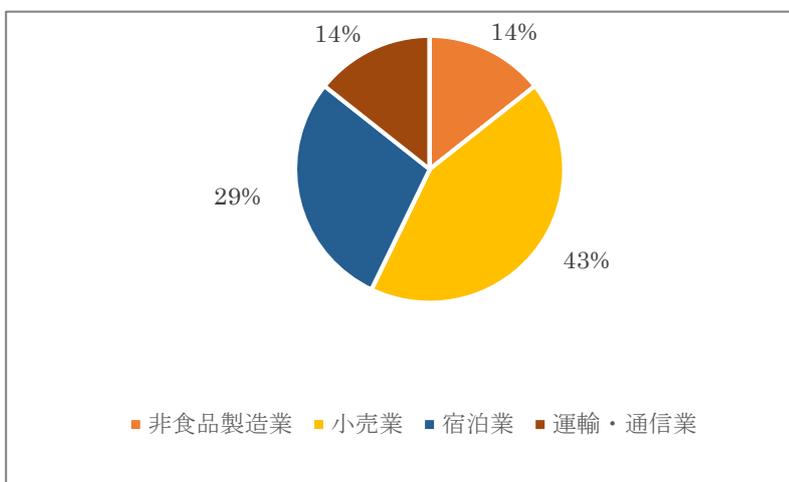
質問3. 本日の企業見学会はどの程度満足しましたか？



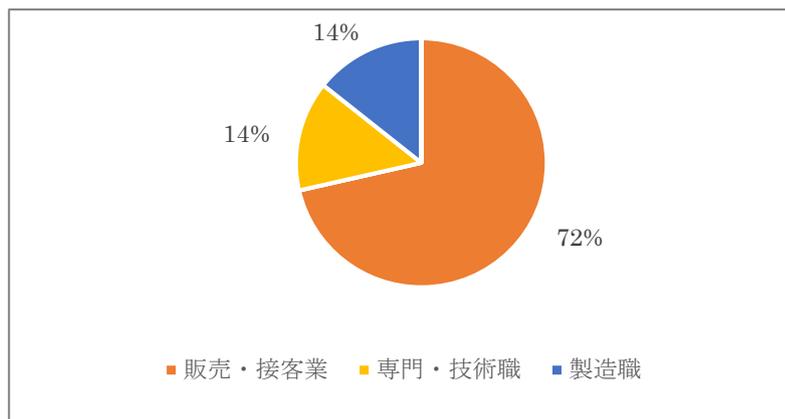
質問4. 本日見学した企業への就職を希望しますか？



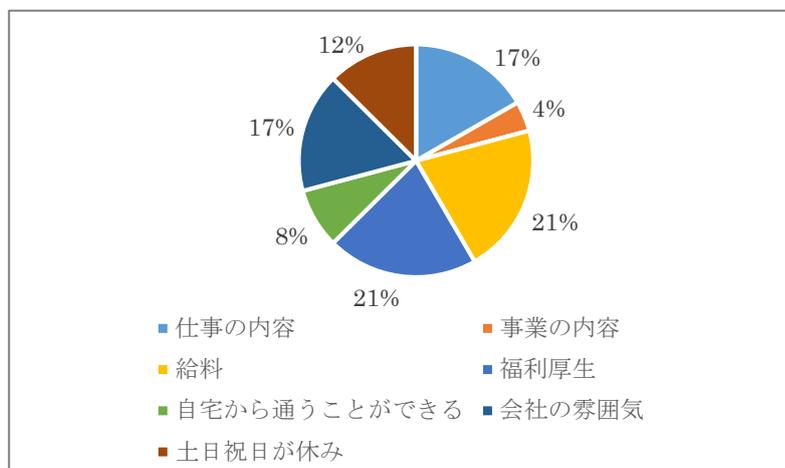
質問5. 就職を希望する業種は何ですか？（複数回答）



質問6. 就職を希望する職種は何ですか？



質問7. 就職するにあたり、必要な条件は何ですか？

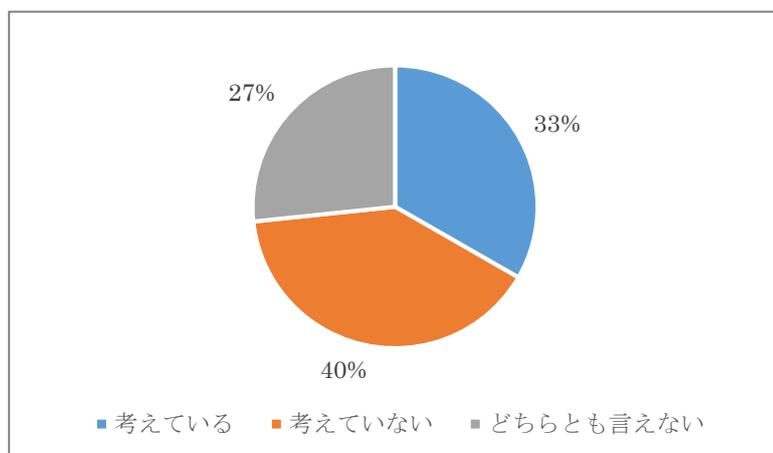


(2) 企業見学バスツアー

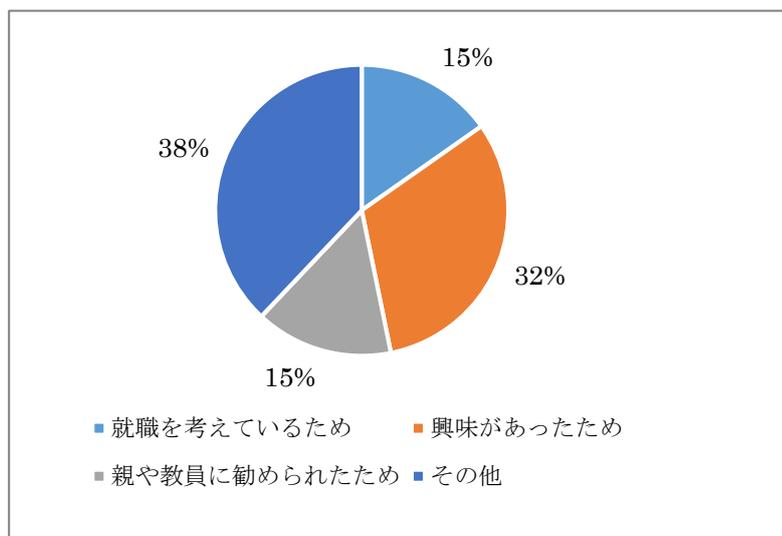
〈アンケート結果〉

回答数：15名

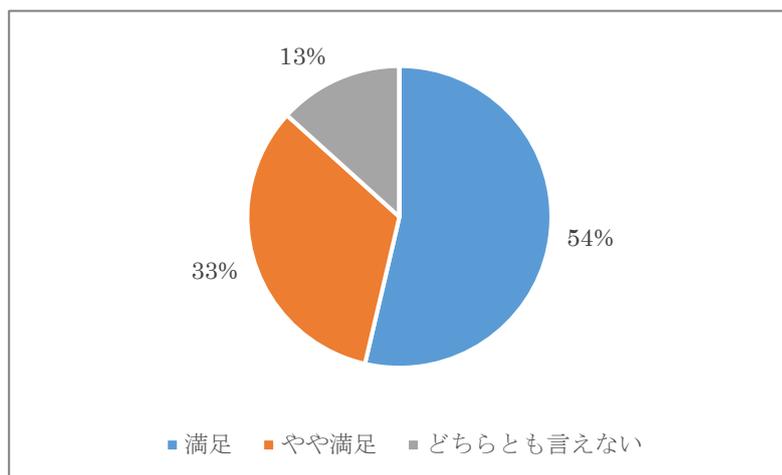
質問1. 今現在、小樽への就職を考えていますか？



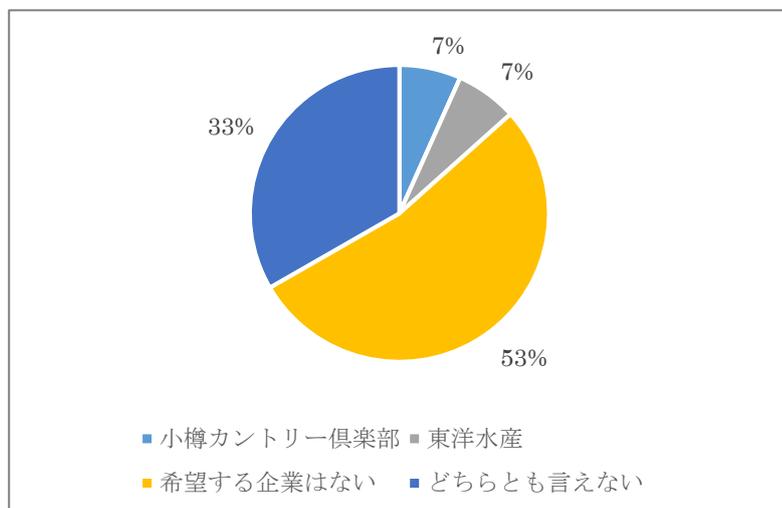
質問 2. 本日の企業見学会へ参加した理由をお選びください。（複数回答可）



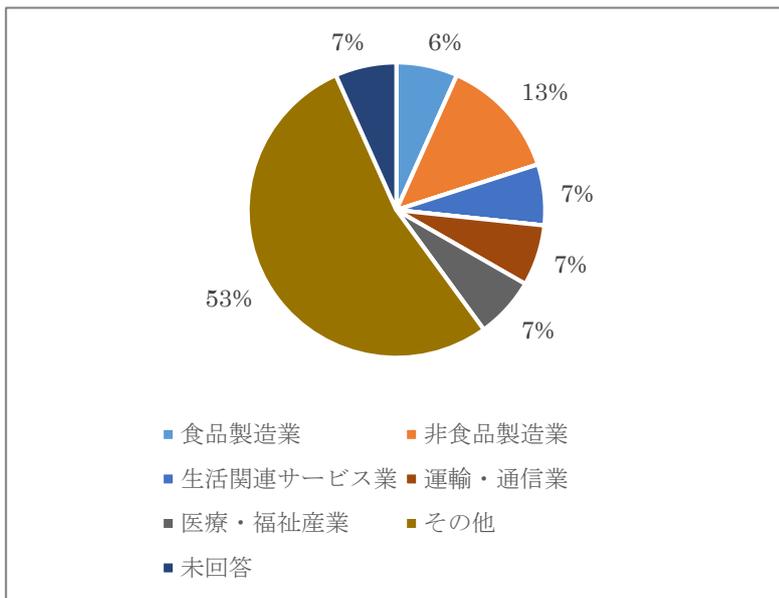
質問 3. 本日の企業見学会はどの程度満足しましたか？



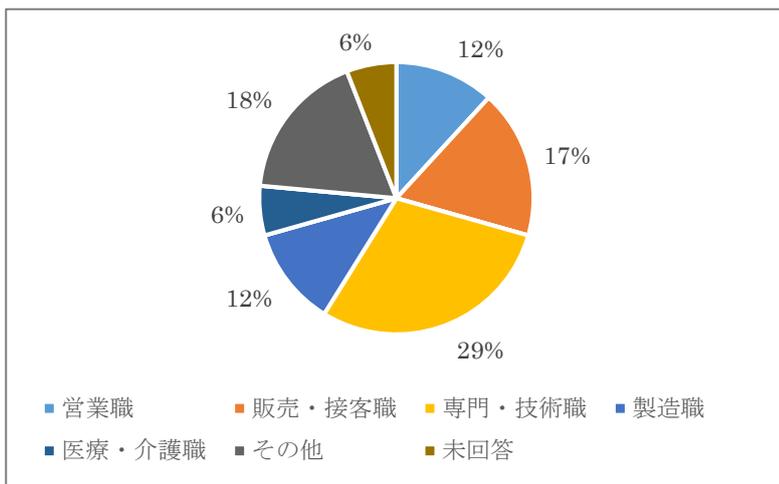
質問 4. 本日見学した企業で就職を希望する企業はありますか？



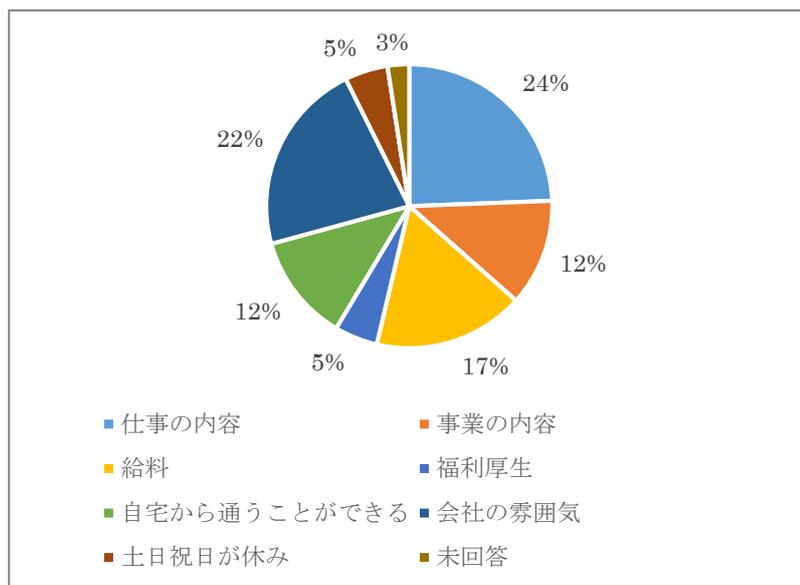
質問 5. 就職を希望する業種は何ですか？（複数回答可）



質問 6. 就職を希望する職種は何ですか？（複数回答可）



質問 7. 就職するにあたり、必要な条件は何ですか？（複数回答可）



(3) 企業出前説明会

〈アンケート結果〉

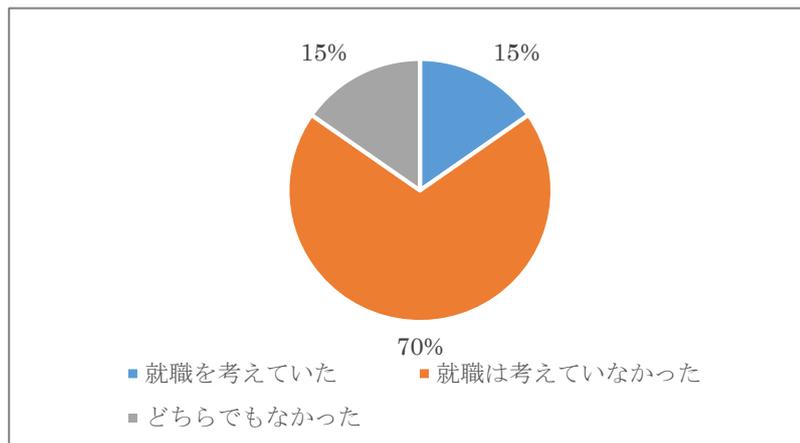
○北海道職業能力開発大学校

回答数：13名

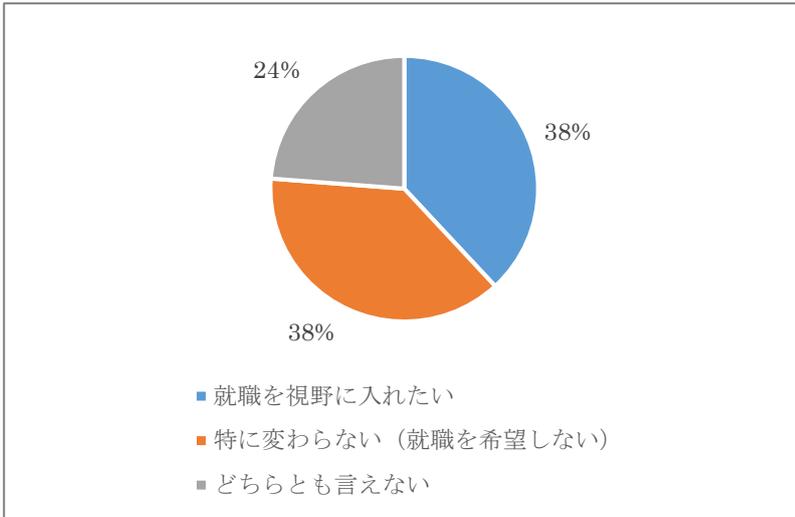
質問 1 は説明を聞いた企業の感想のため省略。

質問 2. 小樽市内の企業への就職についてお答えください。

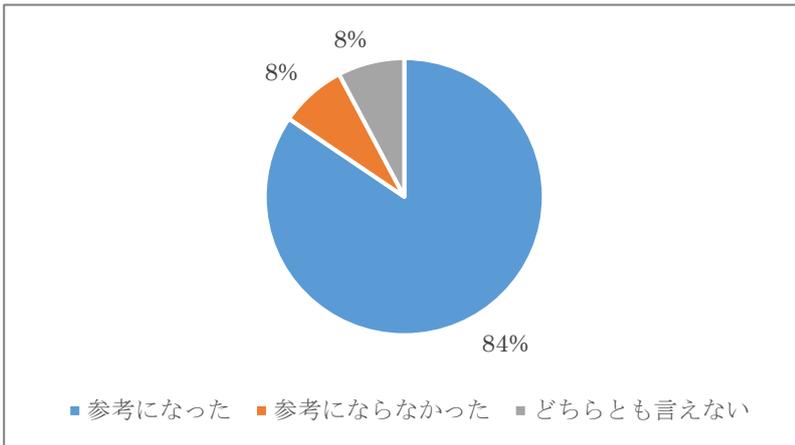
【話を聞く前】



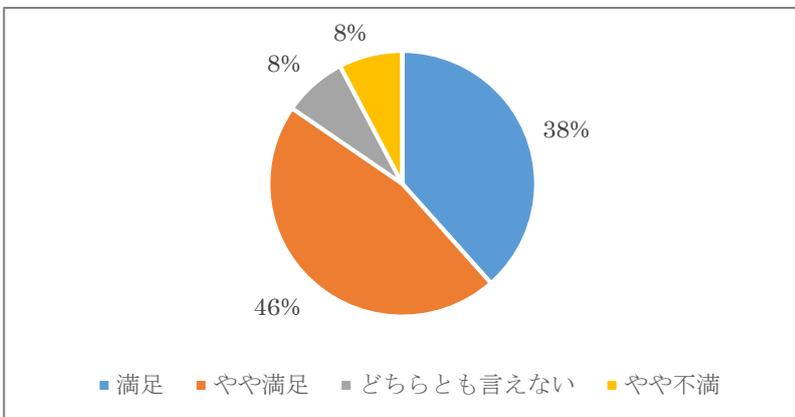
【話を聞いた後】



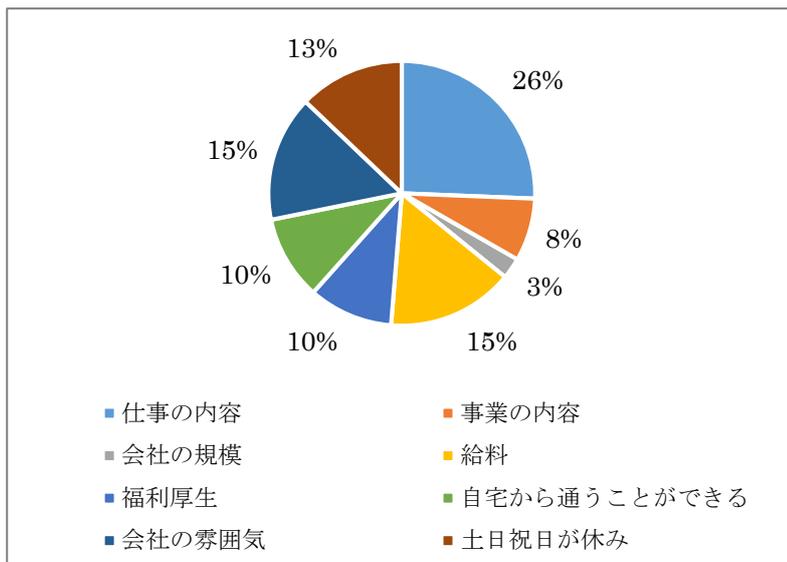
質問3. 本日の説明会は就職を考えるうえで、参考になりましたか？



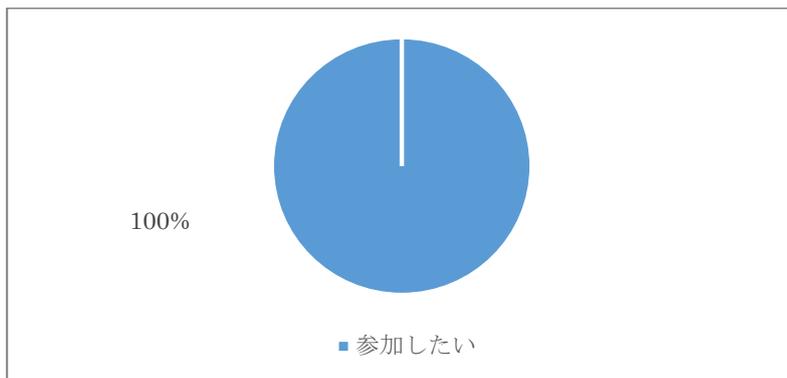
質問4. 本日の説明会は全体的にどの程度満足しましたか？



質問5. 就職するにあたり、必要な条件は何ですか？



質問6. このような形式の企業説明会には今後も参加したいですか？

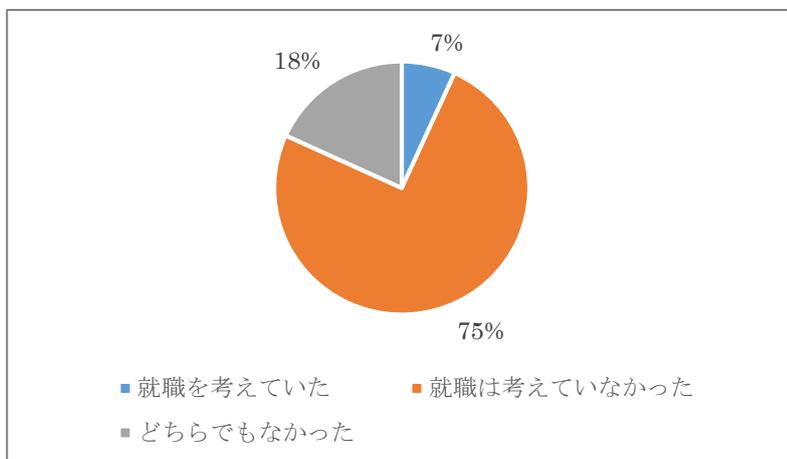


○小樽北照高等学校

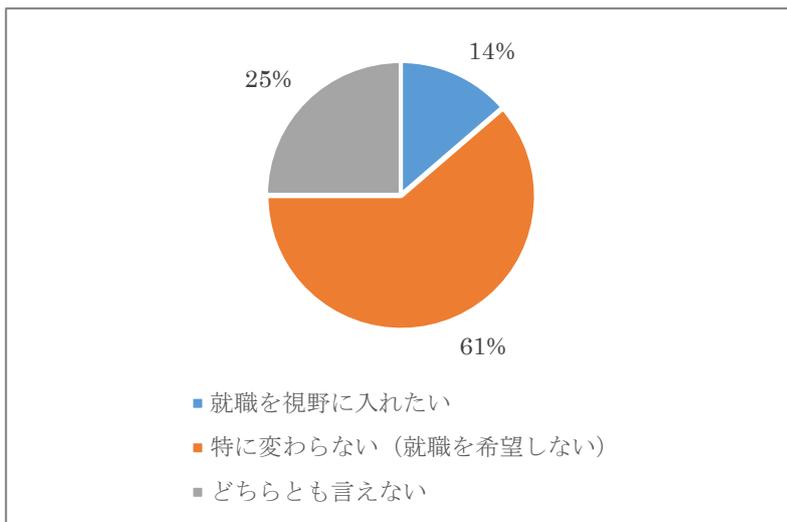
回答数：44名

質問1. 小樽市内の企業への就職についてお答えください。

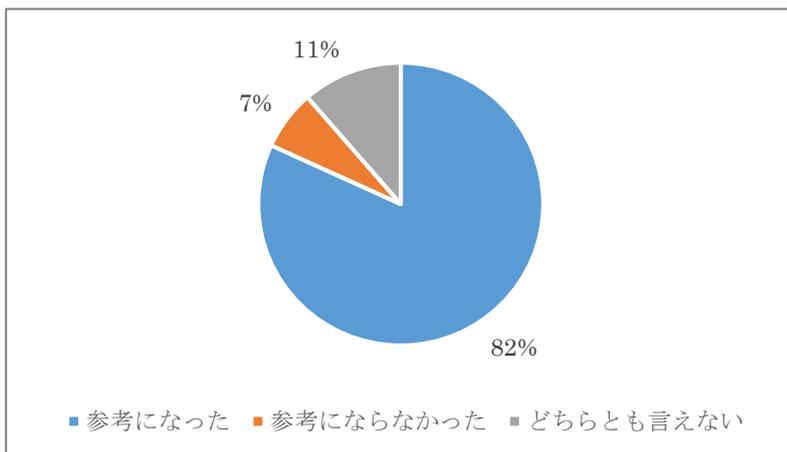
【話を聞く前】



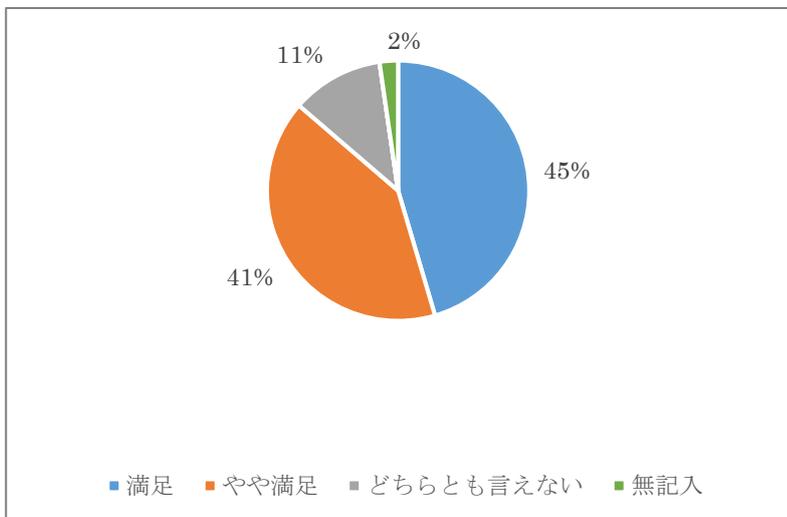
【話を聞いた後】



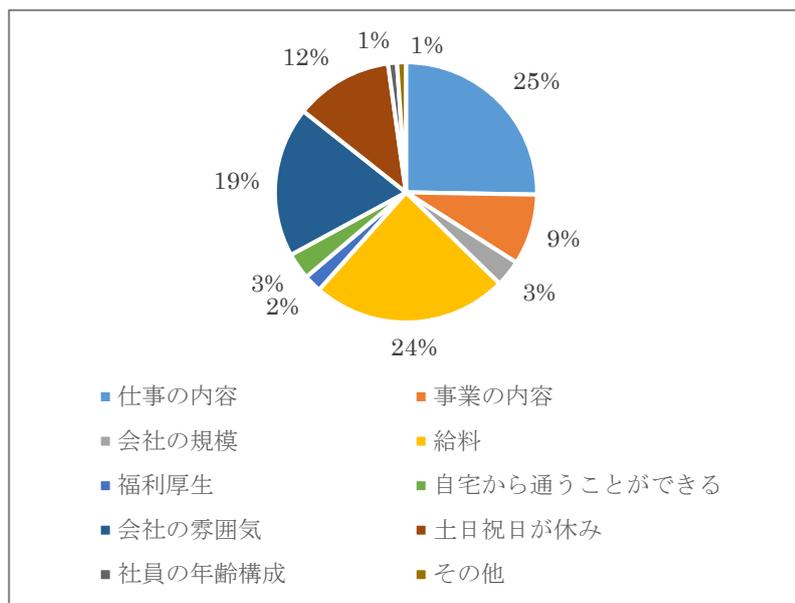
質問2. 本日の説明会は就職を考えるうえで、参考になりましたか？



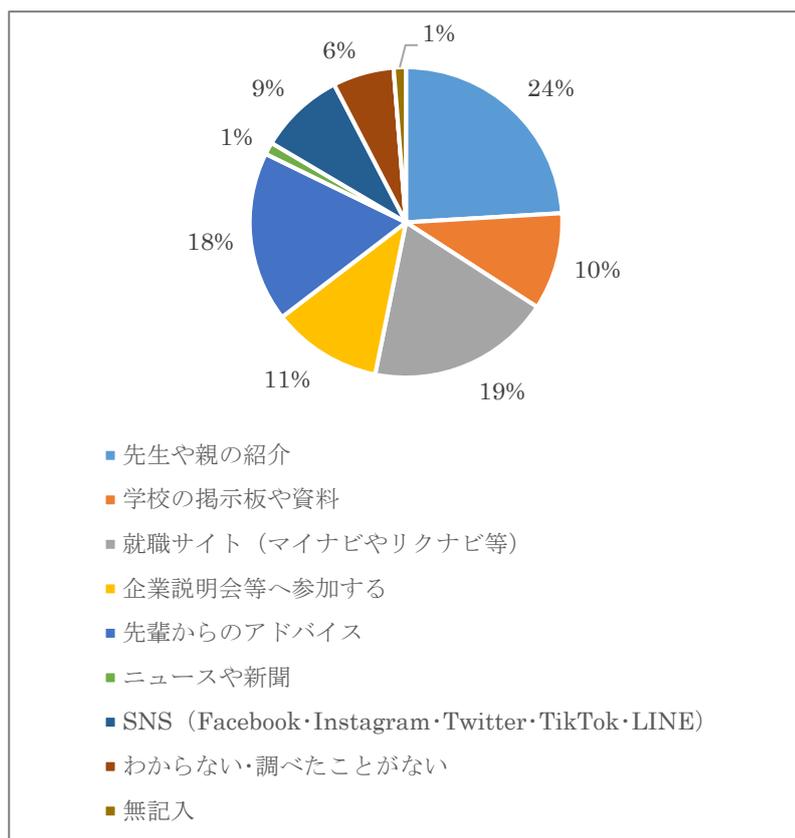
質問3. 本日の説明会は全体的にどの程度満足しましたか？



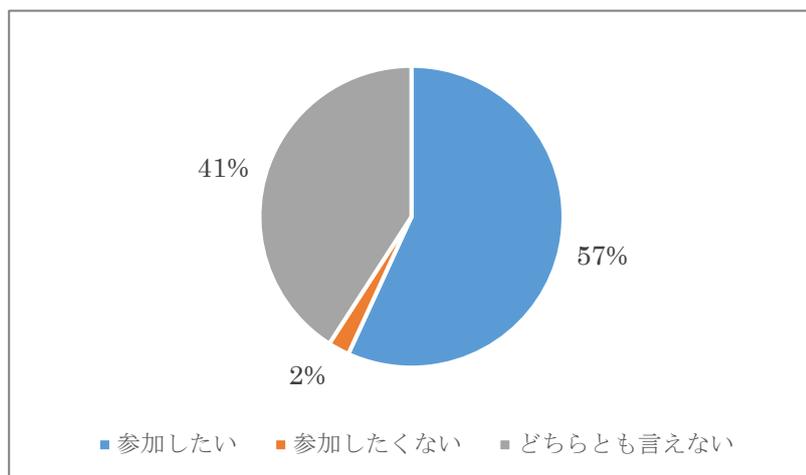
質問4. 就職するにあたり、重視するポイントは何ですか？（複数回答）



質問5. 就職先を探す方法として当てはまるものをお選びください。



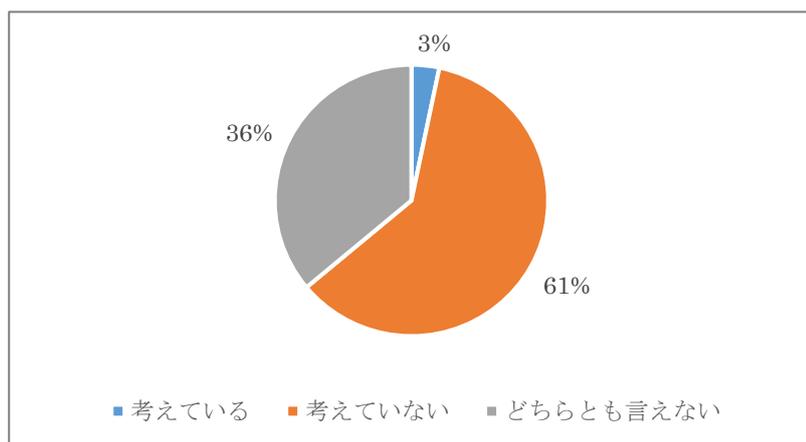
質問6. このような形式の企業説明会には今後も参加したいですか？



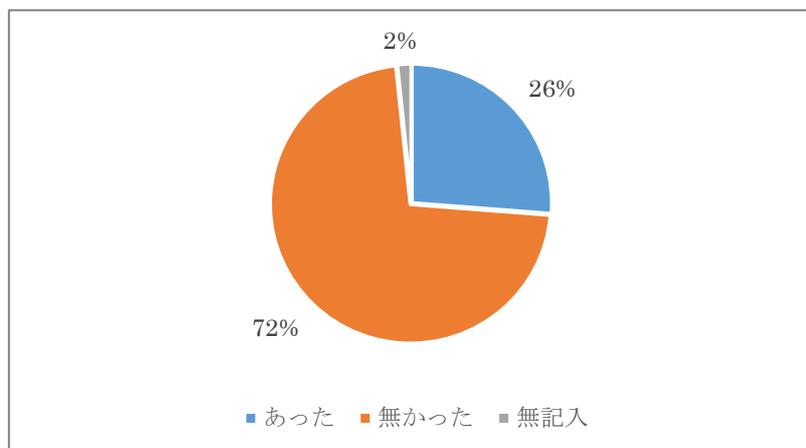
○小樽双葉高等学校

回答数：61名

質問1. 今現在、小樽への就職を考えていますか？



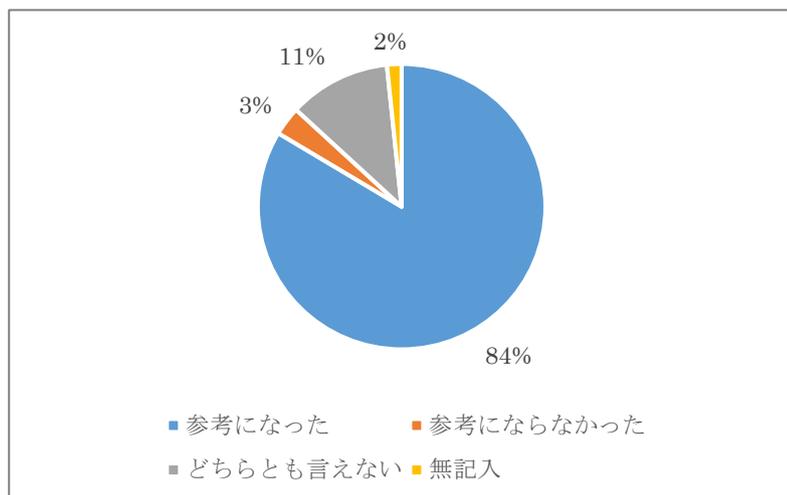
質問2. 本日の参加企業で興味をもった企業はありましたか？



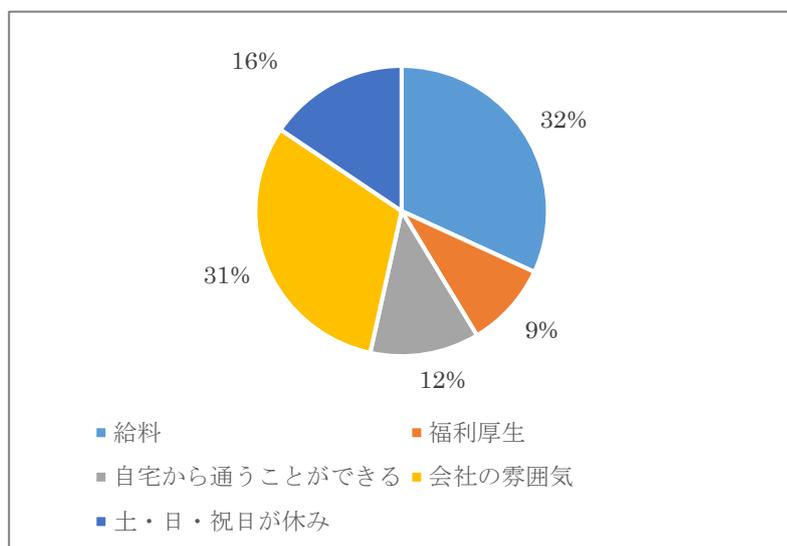
興味をもった企業名

小樽典礼（株）	3
一正蒲鉾（株）北海道工場	3
北海道中央バス（株）	2
ノイシュロス小樽	2
ワタキューセイモア（株）北海道支店	2
（株）久保組	2
北海道技建（株）	1
（株）小樽ゴルフ城小樽カントリー倶楽部	1
（福）北海道広栄社	1
新日本海フェリー（株）	1

質問3. 本日の参加企業の話は、就職を考えるうえで参考になりましたか？



質問4. 就職するにあたり、必要な条件は何ですか？（複数回答）



<評価と考察>

「企業見学会」、「企業見学バスツアー」、「企業出前説明会」の3つの事業にて事後アンケートを行った。「企業見学会」では、参加者が7名と少なかったが、全員が「小樽市内の企業への就職を考えている」と回答している。小樽市内の企業の見学をすることで、自分自身の就職に役立たせたいという参加動機が推察される。「企業見学会」の満足度では全員が「満足」または「やや満足」と回答した。希望する業種では、「小売業」（43%）、「宿泊業」（29%）、「非食品製造業」「運輸・通信業」（各14%）であった。希望する職種では、「販売・接客業」が最も多く72%であった。次いで「専門・技術職」「製造職」が各14%であった。今回見学した企業の業種や職種に影響されていることも推察されるが、一人で複数業種を見学できると、比較ができ生徒の就職先の参考になるのではないかと考えられる。今後の取り組みの課題と言える。

「企業見学バスツアー」では、「小樽市内の企業への就職を考えている」（33%）、「考えていない」（40%）、「どちらとも言えない」（27%）であった。回答者は学校からの指示で参加していることと、ほぼ1年生であったため、自分自身の進路をはっきりとイメージできていない可能性もあるが、本事業の各種コンテンツに参加を促す工夫をするなど、小樽市内の企業を知る機会を多く設定する必要があると考えられる。見学した企業の中で就職を希望する企業では、「希望する企業はない」（53%）が半数を超えた。次いで「小樽カントリー倶楽部」（33%）であった。3社の中で「小樽カントリー倶楽部」が多かったのは、ゴルフの体験を通して職業をイメージできたからと思われる。就職を希望する職種では、「専門・技術職」（29%）が最も多かった。次いで「販売・接客業」（17%）であった。今回見学した企業ではない業種であり、「希望する企業はない」の回答との整合性も見て取れる。

「企業出前説明会」の北海道職業能力開発大学校では、「小樽市内の企業への就職を考えているか」の質問に対し、「話を聞く前」は15%、「話を聞いた後」は38%であり、「企業出前説明会」の開催が一定の効果があったと考えられる。説明会が就職を考える上で「参考になった」と回答したのは84%と多く、一定の効果があったと考えられる。小樽北照高等学校では、「小樽市内の企業への就職を考えているか」の質問に対し、「話を聞く前」は7%、「話を聞いた後」は14%であり、僅かに増えた。小樽双葉高等学校では、「就職を考えるうえで参考になったか」の質問に対し、「参考になった」が84%と多かった。小樽市内への就職を希望する生徒は3%と少ないが、進学希望者が多い学校であるのと、参加者は全員が1年生であるため、卒業後の進路も定まっていない可能性がある。

全事業を通して、「就職に必要な条件」では、「給料」と「会社の雰囲気」が多く、昨年の傾向と同じである。各企業が今後の求人活動の際に考慮すべきことと考えられる。それぞれの事業で参加学年にばらつきがあり、かつ進学と就職希望者が参加者内に混在しているため、就職に繋がるかどうか判断が難しいが、事業を通して生徒たちの就職に対する意識の向上、さらには小樽市内企業の周知・印象付けに繋がったと考えられる。就職先のアンケートでは、7校から回答をいただいた。本事業に参加している企業への就職は、小樽桜陽高等学校2名、小樽未来創造高等学校7名、小樽水産高等学校14名、小樽北照高等学校1名、小樽双葉高等学校2名、小樽明峰高等学校3名の合計29名であった。内定した全ての生徒が本事業に参加した結果就職が決まったとは言えないが、本事業を積極的に案内したことから、周知の効果が上がったものと思われる。参加した企業の事後調査では、案内から実施までの期間が短い、学校の中の案内が不親切など厳しい意見もあり、今後事業を進める上で考慮すべき意見であると考えられる。

IV. 参 考

(1) 事業の実施状況について

①小樽市との打合せ

4月 7日 (木)	第 1 回 (事業計画等打合せ)
6月 1日 (水)	第 2 回 (事業進捗状況打合せ)
7月 1日 (金)	第 3 回 (事業進捗状況打合せ)
8月 1日 (月)	第 4 回 (事業進捗状況打合せ)
9月 1日 (木)	第 5 回 (事業進捗状況打合せ)
10月 5日 (水)	第 6 回 (事業進捗状況打合せ)
11月 17日 (木)	第 7 回 (事業進捗状況打合せ)
12月 27日 (火)	第 8 回 (事業進捗状況打合せ)
2月 8日 (水)	第 9 回 (事業進捗状況、実績報告書等打合せ)
2月 28日 (火)	第 10 回 (実績報告書等打合せ)

②市内高等学校への事業説明

4月 20日 (水)	小樽桜陽高等学校、小樽明峰高等学校、 小樽未来創造高等学校 (全日制)、北照高等学校
4月 25日 (月)	小樽水産高等学校、小樽双葉高等学校

③市内大学等への事業説明

4月 20日 (水)	小樽商科大学
4月 25日 (月)	北海道職業能力開発大学校

④札幌圏の大学等への事業説明

※以下の大学・専門学校へ電話にて本事業の案内とチラシ郵送、インターンシップ・企業見学会・企業見学バスツアーの実施案内を郵送し、周知を図った。

- ・北海学園大学
- ・北星学園大学
- ・北海道科学大学
- ・札幌国際大学
- ・札幌大谷大学
- ・札幌大学
- ・藤女子大学 花川キャンパス
- ・北海商科大学
- ・札幌学院大学
- ・酪農学園大学
- ・北翔大学
- ・学校法人経専学園 経専北海道保育専門学校
- ・学校法人経専学園 経専北海道観光専門学校
- ・札幌商工会議所付属専門学校

⑤企業見学会

	実施日	見学先企業・施設名	参加人数	備考
第1回	令和4年6月24日（金）	田中酒造株式会社	1名	
第2回	令和4年6月27日（月）	横浜冷凍株式会社	-	
第3回	令和4年6月28日（火）	ノーザンオートサービス株式会社	-	
第4回	令和4年6月30日（木）	伊藤ハムデイリー株式会社	-	
第5回	令和4年7月1日（金）	有限会社利尻屋みのや	-	
第6回	令和4年7月11日（月）	ノイシュロス・オペレーション株式会社	1名	※参加者の体調不良により8月3日（水）に延期 2名の申込があったが当日1名欠席
第7回	令和4年7月13日（水）	株式会社大川鉄工所	-	
第8回	令和4年7月25日（月）	株式会社温泉宏楽園	2名	
第9回	令和4年7月27日（水）	社会福祉法人北海道宏栄社	-	
第10回	令和4年7月28日（木）	株式会社健康倶楽部	-	
第11回	令和4年7月29日（金）	西條産業株式会社	-	
第12回	令和4年8月1日（月）	株式会社エムデジ	-	
第13回	令和4年8月3日（水）	新日本海フェリー株式会社	1名	※2名の申込があったが当日1名欠席
第14回	令和4年8月5日（金）	株式会社久保組	-	
第15回	令和4年8月8日（月）	昭和製器株式会社	1名	
第16回	令和4年8月9日（火）	株式会社小樽ゴルフ場	-	
第17回	令和4年8月10日（水）	社会福祉法人小樽育成院	-	
第18回	令和4年8月24日（水）	株式会社光合金製作所	-	
第19回	令和4年8月26日（金）	株式会社アートクリエイト	1名	※当日体調不良のため、9月9日（金）に延期
第20回	令和4年8月31日（水）	株式会社北日本消毒	-	

⑥企業見学バスツアー

	実施日	見学先企業数	参加人数
	令和4年9月26日（月）	3社	15名
	※参加者内訳：北照高等学校15名		
	※申込人数20名のところ当日5名が欠席		

⑦企業出前説明会

	実施日	実施先学校名	参加企業数	参加生徒数
第1回	令和4年6月28日（月）	北海道職業能力開発大学校	2社	13名
第2回	令和4年10月25日（火）	小樽北照高等学校	13社	47名
第3回	令和5年2月21日（火）	小樽双葉高等学校	13社	81名

⑨インターンシップ

	実施日	実施先企業名	参加人数
第1回	令和4年8月2日（火）	株式会社温泉宏楽園	1名
		（参加企業20社）	（計1名）

インターンシップ参加企業一覧

有限会社利尻屋みのや
新日本海フェリー株式会社
ノイシュロス・オペレーション株式会社（ホテルノイシュロス小樽）
北海道技建株式会社
株式会社大川鉄工所
西條産業株式会社
株式会社エムデジ
株式会社久保組
株式会社健康倶楽部
横浜冷凍株式会社石狩物流センター
ノーザンオートサービス株式会社
社会福祉法人北海道宏栄社
株式会社光合金製作所
株式会社北日本消毒
株式会社アートクリエイト
社会福祉法人小樽育成院
近藤工業株式会社
ワタキューセイモア株式会社
株式会社小樽ゴルフ場（小樽カントリー倶楽部）
（参加企業 19社）
※生徒が参加しやすいよう、実施日を設定せずに募集した。株式会社温泉宏楽園1社のみ参加希望があった。

（3） 参加企業等一覧

企業見学バスツアー

企業名
株式会社小樽ゴルフ場（小樽カントリー倶楽部）
株式会社アレフ（小樽ビール）
東洋水産株式会社

（3社）

企業出前説明会

（第1回）北海道職業能力開発大学校

企業名
オーエスマシナリー株式会社
クリロン化成株式会社

（2社）

(第2回) 小樽北照高等学校

企業名
新日本海フェリー株式会社
伊藤ハムデイリー株式会社
株式会社温泉宏楽園
北海道技建株式会社
株式会社大川鉄工所
西條産業株式会社
株式会社エムデジ
北海道中央バス株式会社
株式会社久保組
社会福祉法人北海道宏栄社
ワタキューセイモア株式会社
株式会社小樽ゴルフ場 (小樽カントリー倶楽部)
一正蒲鉾株式会社北海道工場

(13社)

(第3回) 小樽双葉高等学校

企業名
一正蒲鉾株式会社北海道工場
株式会社エムデジ
株式会社大川鉄工所
小樽典礼株式会社
株式会社小樽ゴルフ場 (小樽カントリー倶楽部)
株式会社温泉宏楽園
株式会社久保組
新日本海フェリー株式会社
ホテルノイシュロス小樽 (ノイシュロス・オペレーション株式会社)
北海道技建株式会社
社会福祉法人北海道宏栄社
北海道中央バス株式会社
ワタキューセイモア株式会社

(13社)